

地区別若手会員の育成図る

オンライン発表会

一般社団法人大学行政管理学会の研究・研修委員会は、昨年11月5日、2022年度2回目となる地区別若手会員によるオンライン発表会を開催した。同学会の4地区(東北地区、関東地区、中部・北陸地区、近畿地区)の若手会員(39歳以下)が次々と発表した。発表者、タイトルは次の通りで、自身の考えや勤務先での経験等を発表、同じ若手会員にメッセージを発信した。

▽近畿地区/鈴木隆文氏(龍谷大学)「中長期計画を踏まえた教学創造―教職協働から教職共創へ―」▽中部・北陸地区/松井慶太氏(愛知東邦大学)「フロンティアング事業を通じた大学作り―実践報告と職員が果たすべき役割―」▽関東地区/堀佑二氏(獨協大学)「JUAAM活動を振り返る―研究会活動、委員会活動、研究活動から―」▽東北地区/三島健一氏(宮城教育大学)



大学行政管理学会
2022地区別若手会員オンライン発表会(2022年11月5日)



「地域に貢献する大学の職員」の自発的な学びと「職員の自発的な学びと協働」を宮城教育大学における事例の成果検証か

「地域に貢献する大学の職員」は、開始挨拶にて「職員の自発的な学びと協働」を宮城教育大学における事例の成果検証か

属地区研究会世話人から、発表者への講評とアドバイスがあった。クロージングは会長の笠原喜明氏(学校法人東洋大学)。一人ひとりに講評並びにメールを送って盛会のうちに終了となった。発表者と参加者ともに、自身の業務や勤務先の課題解決など、思いを巡らす機会となった。来年度の実施方法、応募方法、その他は決まり次第、同学会ホームページにて掲載予定。9月2日、3日には第27回定期総会・研究会も実施予定である。